

2025年版 ディスクロージャー誌

Johanan Shinkin Bank
DISCLOSURE

城南信用金庫の経営内容について





Live together

地域と“共に”生きる 信用金庫。

私たち信用金庫は、相互扶助の理念に基づいた、協同組織の金融機関です。
地域社会の発展・繁栄のためにつくられた「公共的使命を持つ金融機関」として、
店頭では明るい笑顔でお客様をお迎えし、
渉外では担当者がお客様のもとへ元気にお伺いする、
地域に密着し、信用・信頼を大切に活動を行っています。

これまで、そしてこれからも、
お客様の最も身近なパートナーを目指して、
地域の皆様に寄り添い、「信頼の絆」をより強固に結びながら、
地域を明るく元気にする活動に、全力で取り組んでまいります。

Outline

当金庫の概要

- [設立] 1945年8月
- [会員] 251,505名
- [出資総額] 448億円
- [従業員] 1,901名
- [本店] 東京都品川区西五反田7-2-3
- [店舗] 86店（うち有人出張所2・インターネット支店1）
- [営業地域] 東京都および神奈川県川崎市、横浜市、相模原市、大和市、厚木市、海老名市、座間市、藤沢市、伊勢原市、綾瀬市、平塚市、秦野市、茅ヶ崎市、鎌倉市、高座郡、愛甲郡



城南信用金庫のイメージキャラクター
「シナモロール」

Cinnamoroll

ビジョン

01

中小企業の健全な育成発展

お客様のお役に立つべく、「貸すも親切」「貸さぬも親切」の精神をもって地域の中小企業の育成発展に貢献します。

ビジョン

02

豊かな国民生活の実現

信用金庫は、地域を守り、地域の方々の幸せのためにつくられた公共的使命を持つ金融機関です。自らの利益のために活動するのではなく、豊かな国民生活の実現のため努力を惜しまず取り組みます。

ビジョン

03

地域社会繁栄への奉仕

地域に根ざした金融機関として、お客様のお役に立つ商品、サービスの提供、相談業務の充実を図ることにより、地域の皆様の事業の発展や豊かで潤いある暮らしづくり、さらには活気に溢れた明るい街づくりを目指し、全力を尽くします。

経営方針

「健全経営」「堅実経営」の徹底 – 「間接金融専門金融機関」を貫く –

城南信用金庫では、お客様に損失を与える可能性のある商品は取扱っておらず、安全確実な預金商品の提供に努めるとともに、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いを通じて地域のお客様を全力で支援する等、金融機関の原点である「間接金融専門金融機関」を貫いています。また、創立以来「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫いており、投機を目的とした融資は一切行っていません。余裕資金の運用についても、証券化商品への投資は一切行っておらず、国債や預け金等の安全確実な運用に努めています。今後についても、金融機関としての本業に徹するとともに、「健全経営」「堅実経営」を徹底してまいります。

「人を大切にする経営」「思いやりを大切にする経営」の徹底

信用金庫は、助け合いや思いやりを大切にして、誰もが幸せに暮らせる社会を実現するために生まれた協同組織の金融機関です。城南信用金庫は、「人を大切にする」「思いやりを大切にする」という協同組織の精神による金融業務に力を注ぎ、地域のお客様のお役に立ち、日本を明るく元気にするために全力で取り組んでまいります。

「お客様本位」に基づいた取り組みの徹底

信用金庫は、地域の皆様が会員（出資者）であると同時に取引先であるため、本当の意味での「お客様本位」に徹した経営が可能です。このため城南信用金庫では、お客様に目を向けた独自の商品・サービスのご提供に努めるとともに、お客様のお困りごとを解決するために全力を注ぐ等、誠実で真心を込めた取り組みに徹し、地域のお客様との「信頼の絆」をより強固なものとしてまいります。

城南信用金庫のDNA	02	よい仕事おこしネットワークの取り組み	22
城南信用金庫創立80年の歩み	04	DX(デジタル・トランスフォーメーション)戦略	23
城南信用金庫創立80周年記念クロストーク	06	中長期的な目標の実現に向けて	24
2024年度の業績と経営内容	08	やりがいを持ち、安心して働ける職場づくり	25
リスク管理態勢・コーポレートガバナンス態勢	14	城南信用金庫の社会貢献活動	26
個人の皆様への夢のある商品・サービス	16	店舗のご紹介	28
事業者の皆様への本業支援	19	しんきん共同システムへの移行について	30

城南信用金庫のDNA

ルーツは世界最初の協同組合

ロッヂデール公正先駆者組合

我が国では、ドイツの商工業者の信用組合をお手本にして、1900年(明治33年)9月に産業組合法が制定されましたが、この時に誕生した産業組合が現在の農協や生協、信用金庫のルーツと言えます。

このドイツの信用組合は、1844年にイギリス・マンチェスター郊外のロッヂデールに創立された、世界最初の協同組合「公正先駆者組合」がモデルであり、当時イギリスでは、産業革命が急速に進展した結果、貧富の差が拡大するばかりで、社会の混乱を招いていました。そこで勤労者や庶民がお互いに助け合って、皆が豊かで安定した生活を営める理想社会をつくらうという社会運動が起こり、これが協同組合運動となりました。



ロッヂデール組合の建物

都内最古の「入新井信用組合」



加納久宜子爵
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)

加納久宜子爵

1900年に制定された産業組合法に基づき、1902年(明治35年)7月に、上総一宮藩最後の藩主であった加納久宜子爵が、大田区山王の自宅で都内最古の信用組合である入新井信用組合を設立しました。1905年(明治38年)には、会頭を平田東助、副会頭を加納子爵とする大日本産業組合中央会が創設され、加納子爵は全国農事会と入新井信用組合の連名で、全国の産業組合に呼びかけ、自らが議長となって第一回全国産業組合大会を開催しました。その他にも、鹿児島県知事や千葉県の一宮町長を務められたほか、農事会幹事長、帝国農会の初代会長、日本体育会会長として金融、農業、教育、地方自治の分野において、近代日本の発展に大きな貢献をされました。

実はこの加納家は、江戸時代、徳川家に側近として仕え、将軍家と縁戚関係にある名家でした。特に江戸時代中期、徳川8代将軍徳川吉宗に御取次役として仕えた加納久通は、目安箱の設置や無料の医療施設であった小石川養生所の設置等、民衆のための政策であった享保の改革を補佐しました。

加納家の志を受け継いだ加納子爵が信用組合の普及や啓蒙に尽力された結果、近隣の有力者たちは、入新井信用組合に学び、城南の前身となる信用組合を相次いで設立しました。国のため、地域のため、民衆のために一生を尽くした加納子爵は、「一にも公益事業、二にも公益事業、ただ公益事業に尽くせ」という信用金庫の持つ公共的な使命を示す言葉を遺しました。「困った人々を助ける」という想いは現代まで脈々と受け継がれています。

城南信用金庫の誕生

城南信用組合の発足

終戦直前の1945年(昭和20年)8月10日、空襲により焦土と化した城南地区の一角において、入新井信用組合をはじめとした15の信用組合が合併し、城南信用組合が発足しました。

初代組合長は、当時、六郷信用組合の組合長を務めた代田朝義。1894年(明治27年)12月に山梨県北巨摩郡菅原村で生まれ、六郷町長、東京都議会議員等を経て大田区長を10年間務めた人物です。1945年(昭和20年)10月には、民間から初めて東京都市街地信用組合協会(現在の東京都信用金庫協会)の会長に選出され、同年12月には全国信用組合協会(現在の全国信用金庫協会)の会長に就任する等、地元の名士として政界で活躍する一方で、信用金庫業界の指導者としても活躍し、地域社会の発展と我が国経済の発展、繁栄に貢献しました。

第2代組合長は入新井信用組合の組合長を務めた酒井熊次郎。1889年(明治22年)12月に荏原郡入新井町で生まれ、東京都議会議員、入新井町長を歴任しました。1950年(昭和25年)には、全国信用協同組合連合会(後の全国信用金庫連合会、現在の信金中央金庫)の設立発起人として大蔵



旧本店

省との交渉にあたるとともに、全国の信用組合に協力を呼びかける等、同連合会の設立に尽力しました。同連合会は当時の城南信用組合本店の会議室を借りて発足しました。酒井は初代会長に就任し、1956年(昭和31年)まで6年間にわたり信用金庫業界のリーダーを務めました。

その後、城南信用組合は、1951年(昭和26年)6月の信用金庫法の施行に伴い、同年10月に全国のトップを切って信用金庫に改組し、名称を城南信用金庫と改めました。

信用金庫業界の発展に貢献

第3代理事長 小原鐵五郎

小原鐵五郎は、1899年(明治32年)10月に荏原郡大崎村の農家の四男として生まれました。1919年(大正8年)に大崎信用組合の設立に参加し、1930年(昭和5年)には産業組合中央会主催の弁論大会で「信用組合の貸出金について」というテーマで1等賞を受賞しました。1945年(昭和20年)4月に大崎信用組合の専務理事に選任され、また同年8月には城南信用組合発足と同時に専務理事に就任しました。

小原は、1956年(昭和31年)に第3代理事長に就任し、さらには1963年(昭和38年)に全国信用金庫連合会の会長に、1966年(昭和41年)には全国信用金庫協会の会長に就任する等、名実ともに業界を指導するリーダーとなりました。当時、大蔵省は信用金庫を株式会社化して、銀行が信用金庫を吸収合併できる法案の成立を考えていましたが、小原は「信用金庫は日本経済を支える中小企業のための金融機関である」という「裾野金融論」を主張して、信用金庫業界の危機を救いました。そして1968年(昭和43年)の「信用金庫躍進全国大会」において、信用金庫の経営理念となる3つのビジョンを初めて打ち出しました。

1975年(昭和50年)に理事長を退任して会長に就任した



小原鐵五郎

後も、1989年(平成元年)1月27日に89歳で亡くなられるまで、城南信用金庫のみならず信用金庫業界全体の発展のために精力的に活動を続けました。こうした長年の功績が認められて、1977年(昭和52年)には勲二等瑞宝章を、1987年(昭和62年)には勲一等瑞宝章を受章しました。小原が遺した「裾野金融」「貸すも親切、貸さぬも親切」「カードは麻薬」「国民経済」「産業金融」「銀行に成り下がるな」等の言葉は、「小原鐵学」と呼ばれ、現在も信用金庫の理念を示す言葉として大切に受け継がれています。

城南信用金庫創立80年の歩み

1945年 8月

東京都城南地区の15の信用組合が合併、城南信用組合として発足
初代組合長に代田朝義が就任



1948年 10月

第2代組合長に酒井熊次郎が就任



1961年 7月

芝商工信用金庫の事業全部譲受

1945

1960

1950

1951年 10月

信用金庫法施行に伴い信用金庫に改組

1956年 5月

第3代理事長に小原鐵五郎が就任



1959年

2月 東都信用金庫の事業全部譲受

10月 金庫歌

「城南信用金庫の歌」制定

1970

1970年 10月

新本店新築落成



1977年 6月

新事務センター完成



2011年

3月・4月

「東日本大震災」への義援金として3月に1億円、4月に2億円、合計3億円を寄付

4月

被災地支援のボランティア活動を開始



2012年 11月

「日本を明るく元気にする“よい仕事おこし”フェア」を開催



2010

2014年 9月

貸出金残高2兆円達成

2015年 6月

「城南なんでも相談プラザ」を開設



2018年

4月 創業支援施設

「J-Create+」を開設



10月 「しらうめJネット支店」を開設

12月 「よい仕事おこしネットワーク」を立ち上げ

1990

1991年 4月

金融界で初めて、独自の短期・長期プライムレートを導入

1992年 4月

金融界で初めて、「不良債権」の残高を開示

1994年 11月

懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の取扱い開始



1995年 9月

預金総額3兆円達成

昭和

平成

2020年

7月 「よい仕事おこしプラザ」を開設



9月 高円寺支店を新築建替し、1階に認可保育園を併設



2020

2021

2021年

10月 瀬谷支店を移転し、「ドトールコーヒーショップ 城南信用金庫瀬谷店」を併設
10月 預金総額4兆円達成

2022年

4月 株式会社サンリオの「シナモロール」が当金庫のイメージキャラクターに就任



2022

2023

2023年

1月 「城南バンキングアプリ」の取扱い開始



3月 碑文谷寮をリノベーションし、オフィス併設したシェアハウスとしての運用を開始

3月 公式Instagramの取扱い開始



@JOHNANSHINKIN

2024年

2月 令和6年能登半島地震復興支援企画「チャリティーコンサート」を開催

6月 品川区と包括連携協定を締結

10月 大田区と包括連携協定を締結

2024

90周年

100周年

2025

2025年

1月 ビジネスカジュアルを導入

4月 建設案件紹介サービス「ツナガル」の取扱い開始

4月 城南ものづくりコンソーシアムサービスの取扱い開始

8月

創立80周年



副理事長
斉藤 任弘

理事長
林 稔

副理事長
長谷部 義和

変わらぬ想いと、新しい一歩「不易流行の精神」 地域と共に歩む未来へ

— 想いはそのままに、新しい一歩を地域と共に —

城南信用金庫は、2025年8月10日に金庫創立80周年を迎えます。これまで積み重ねてきたお客様との信頼を大切にしながら、今、私たちは次の時代へと歩みを進めています。お客様と共に未来を見つめ、変わらぬ想いで進む城南信用金庫のこれからを理事長と副理事長が語り合いました。

地域のお客様と一緒に築いてきた80年に「感謝」

林 当金庫が80周年を迎えることができたのは、本当に地域のお客様一人ひとりのおかげです。先人の教えとともに、お客様に育てていただいたのです。営業店での何気ないやり取りや、お悩みごとの相談、時には一緒に事業に挑戦する等、これまで積み重ねてきた日々が、今の城南信用金庫につながっています。この場をお借りして、心から御礼を申し上げます。

斉藤 本当にその通りです。私は現場でお客様とお会いすると、「城南さんだから相談できる」とお声をいただくことがよくあります。金融の枠を超えて、一緒に未来を考える存在でありたい。その想いで役職員一人ひとりが真剣に向き合ってきた結果が、80年という歴史に現れていると感じます。



長谷部 地域の皆様からの信頼に応えるためにも、私たちは常にお客様の“これから”に目を向けています。単に「寄り添う」のではなく、「一緒に前に進む」ことが求められる時代です。だからこそ、城南信用金庫として、時代を先取りした新しい取組みにも積極的に挑戦していく必要があると思っています。

顔が見える存在だからこそできる、企業の力の引き出し方

長谷部 最近取扱いを開始したサービスのひとつに、地域のものづくり企業を支援する取組みがあります。これは、技術や設備を持っていてもなかなか対外的にPRできずにいる企業に、新たな出会いとチャンスを届けることが目的です。地域のものづくり企業と大手企業がつながる機会をつくることで、自社の強みを最大限に活かせる可能性が広がると考えています。

林 私たちの役割は、金融という枠にとらわれず、「素晴らしい技術やサービスがここにあるんですよ」と社会に橋渡しをすることだと思っています。これは単に取引いただいているお客様を紹介するというのではなく、その企業の未来と一緒に切り拓いていくものであり、長年地域で築いてきたネットワークがあるからこそ、できる取組みだと感じています。

斉藤 そうですね。こうした取組みは、地域の企業が「知って

いただき、選ばれる」きっかけを生み出します。自社だけでは届かなかった先とつながることで、事業の可能性が広がり、新たなビジネスが生まれていくことを実感されている方も増えています。地域に眠る可能性を引き出す。それは、地域の皆様と長年にわたり共に歩んできた信用金庫だからこそ担える役割だと信じています。

情報がつながり、人がつながることで、商売が広がっていく

齊藤 建設業界においても、似たようなニーズがあります。受注の機会があっても情報が届かなかったり、つながりのない企業とはなかなかやりとりが始められなかったり。だからこそ、私たち信用金庫が間に入って、「信頼できるつながり」をつくるのが重要だと感じています。

長谷部 建設業の皆様は慢性的な人手不足等もあり日々の仕事が忙しく、情報収集や新規営業に時間をかけられないという実情があります。そこで、私たちが案件の橋渡しを行い、企業同士がスムーズにつながること、お互いの負担が軽くなり、本業に専念できると思います。それが地域全体の力にもつながると信じています。



林 このつながりがきっかけとなって、ある地元企業が初めて大手企業と契約を結んだ例もあります。私たちのような信用金庫が、ただの「紹介」ではなく「信用」をつなぐ存在として動くことに、大きな意味があると思っています。今は、大きな資本や規模だけがビジネスの評価軸ではありません。地域には、アイデアや丁寧なものづくりで勝負している、小さくても芯のあるオンリーワン企業がたくさんあります。そうした事業者の魅力を伝え、お客様とつなげる場を提供する。今後は、地元の企業同士の交流の場をもっとつくり、もっとダイナミックに市場を捉えビジネスが動く、持続的成長を牽引していきたいですね。

この信用金庫と、これからも歩んでいきたいと思っていただけるように

長谷部 私たちは、お金を預かるだけではなく、そのお金が

どんな未来をつくるのかを考える金融機関でありたいと思っています。お客様一人ひとりの挑戦に伴走し、必要なときに寄り添い、安心して頼れる存在でありたい。そんな想いで、日々の業務に取り組んでいます。

齊藤 「城南さんと取引していて良かった」と言っていたことが、何よりの喜びです。これからも、お客様の信頼に応え続けられるよう、サービスをご提供し、私たち役職員一人ひとりが成長しながら進んでいきたいと思っています。

林 城南信用金庫の80年という歴史は、地域の皆様のご支援と信頼に支えられて築かれてきました。私たちの使命は、お客様の声に耳を傾け、暮らしやビジネスを金融の面から支えていくことです。その原点にあるのが、「地域の皆様の夢の実現を応援する」という信用金庫の真髄です。私たちは、ただお金でつながっているだけの存在ではありません。お客様の夢や挑戦を応援し、その実現に向けて共に歩むパートナーでありたいと考えています。地域に根ざした金融機関として、「Face to Face」の関係を大切にしながら、役職員一人ひとりが目の前のお客様にしっかりと向き合い、その声を真摯に受け止めていきます。そして、地域に根ざしているからこそ、こうした一人ひとりの想いに寄り添い、地域全体の活力を引き出し、新たな価値を創造し、共に未来をつくっていくことができるのです。

これからの時代、金融業界も急速にデジタル化が進み、サービスの形も変わっていくでしょう。しかし、どれだけ時代が変わっても、私たちの根幹である「地域と共に生きる」という姿勢は決して変わりません。お客様と顔を合わせ、直接声を聴いて、一緒に未来を考える。その温かいつながりこそが、城南信用金庫の存在意義であり、これからも大切に守り続けていくものです。

私たちはこれからも、地域の皆様の暮らしやビジネスの発展を応援し、より豊かで輝かしい未来を共につくり上げることをお約束いたします。80年の感謝を胸に、次の時代へ向けた新たな一歩を踏み出してまいりますので、どうぞ引き続き、城南信用金庫に今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2024年度の業績と経営内容

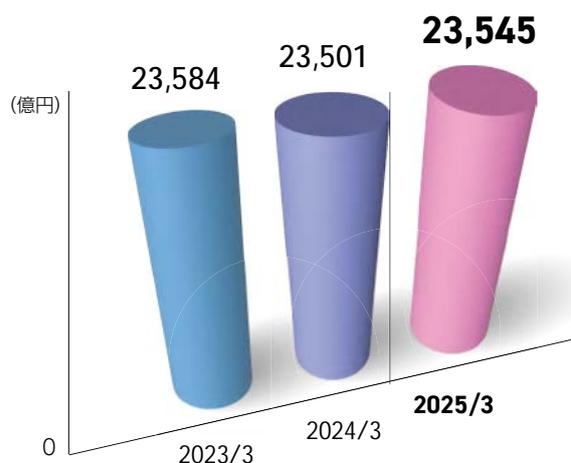
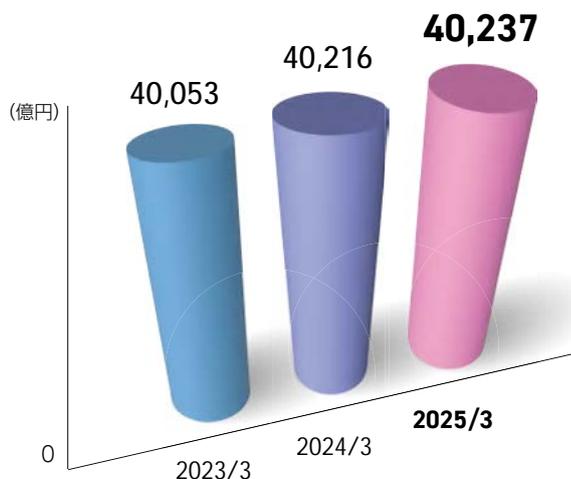
預金と貸出金の状況

預金残高

4兆**237**億円

貸出金残高

2兆**3,545**億円



預金については、年間で21億円増加し、残高は4兆237億円となりました。

多くの金融機関では、投資信託や変額年金保険等を販売していますが、これらの商品には、運用対象となっている株式や債券等の価格が下落したり、為替相場が変動すると元本割れする等のリスクがあるため、当金庫では、こうしたお客様に損をさせる可能性のある商品は取扱っておりません。

貸出金については、お客様の資金繰り改善に取り組んだ結果、年間で43億円増加し、残高は2兆3,545億円となりました。

当金庫では、今後も、地域の中小企業や個人のお客様のお役に立つ健全な融資の推進に取り組んでまいります。

- ・詳細な計数資料については、「計数資料編」に掲載します。
- ・本誌に掲載した各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。
- ・本誌に表示している表、グラフ等で、年月の記載のないものは、2025年3月31日現在のものです。



収益の状況

業務純益	76億円	経常利益	74億円	当期純利益 (税引後)	46億円
------	-------------	------	-------------	----------------	-------------

■業務純益、経常利益、当期純利益

(金額単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
業務収益	45,544	業務純益	7,647
貸出金の受入利息	34,902	臨時収益	1,367
預け金等の受入利息	6,451	臨時費用	1,515
受入手数料等	3,697	貸出金償却・引当	600
その他	491	その他	915
業務費用	37,896	経常利益	7,499
預金・積金の支払利息等	2,465	当期純利益(税引後)	4,686
支払手数料等	1,828		
人件費	16,954		
物件費	11,723		
その他	4,924		

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

自己資本比率の状況

■自己資本比率

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額}} \times 100 = \frac{1,855\text{億円}}{1兆6,721\text{億円}} \times 100 = \mathbf{11.09\%}$$

自己資本比率については11.09%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

不良債権と償却・引当額について

信用金庫の不良債権には、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」と「自己査定に基づく分類貸出金」の2つの基準があります。

このうち、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は、法律で開示が義務づけられていますが、当金庫では、これに加えて、不良債権の実態を正確に示した「自己査定に基づく分類貸出金」を自主的に開示しています。

自己査定結果

自己査定にあたっては、まず、全貸出先について、債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に区分を行います。これを「債務者区分」と言いますが、2025年3月期における債務者区分別の貸出先数・貸出金残高等の状況をまとめたものが表①です。

このうち、要注意先に対する貸出金については、貸出条件緩和債権（債務者の収支状況等の悪化により貸出条件の改定等を行った債権）の有無や、返済履行の遅延状況、貸倒れの発生する可能性等に基づいて、A、B、Cの3つのランクに細分化して開示しています。

表①. 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位:億円)

		先 数	金 額 (構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	42,529	15,581 (66.1%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	8,333	7,104 (30.2%)
内 訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	8,297	6,995 (29.7%)
B	貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	30	74 (0.3%)
C	期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	6	34 (0.1%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,772	741 (3.1%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	214	42 (0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	74	18 (0.1%)
国・地方公共団体(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	67 (0.3%)
合 計		52,924	23,555 (100.0%)

次に、債務者区分毎に担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金を「I(非)分類」から「IV分類」の4つのランクに分類しますが、その結果が表②です。

表②. 分類貸出金

(金額単位:億円)

		金 額 (構成比)
I (非) 分類	回収について問題のない貸出金	18,386 (78.1%)
II 分類	回収について注意を要する貸出金	5,158 (21.9%)
III 分類	回収について重大な懸念がある貸出金	4 (0.0%)
IV 分類	回収不能と判定される貸出金	6 (0.0%)
合 計		23,555 (100.0%)

※2023年度以前に引当てした貸出金はI(非)分類となっています。

※III分類、IV分類の貸出金は2024年度に発生したものを計上しています。

貸出金の償却・引当

貸出金に対する償却・引当については、表③に示した内訳になりますが、破綻先、実質破綻先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」「Ⅳ分類」の貸出金については、担保でカバーされていない無保全部分であり、実際には、回収は難しいため、全額を償却・引当処理しました。

また、破綻懸念先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」の貸出金

については、まだ事業を継続している先等に対する貸出金であり、実際には、今後回収可能なものも含まれていますが、当金庫では、その先についても、債務者の支払能力を総合的に判断し、必要と認める額を計上しています。その結果、2024年度は100%の引当処理を実施しました。

表③. 破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金の償却・引当額

破綻先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	5億円 —億円	□	…	5億円の全額	5億円
実質破綻先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	0.6億円 —億円	□	…	0.6億円の全額	0.6億円
破綻懸念先	(うちⅢ分類)	4億円		…	4億円の100%	4億円
合 計						10億円

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

2022年3月31日より改正信用金庫法が施行され、「信用金庫法に基づく開示債権区分」を「金融再生法に基づく開示債権区分」に合わせることで、不良債権の実質的な開示の一本化が図られることとなりました。

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」の2025年3月期の内容は表④の通りです。

このうち「要管理債権」とは、債務者区分が要注意先に対する債権のうち、「3か月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上延滞している貸出債権)」と「貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図ることを目的とし、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)」のことです。

また、「危険債権」とは、債務者区分が破綻懸念先に対する債権、そして「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、債

務者区分が実質破綻先と破綻先に対する債権のことです。

3か月以上返済が遅れている先に対する貸出債権については、多くの金融機関が債務者区分に際して、その一部を要注意先に区分しているのに対し、当金庫ではワンランク厳しい破綻懸念先に区分しているため、全て「危険債権」に含まれています。

当金庫では、「貸出金の償却・引当」で示しました通り、破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金については、無保全額の100%を償却・引当処理していますので、当金庫の貸出債権は高い健全性を示していると言えます。

なお、新聞等で一般に不良債権比率と呼ばれているものは、この「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」のうち、「正常債権」を除く、「要管理債権」「危険債権」「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の割合のことですが、2025年3月末の不良債権比率は3.70%となっています。

表④. 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

(金額単位:億円)

	金額 (構成比)	償却・引当後の無保全額
正常債権	22,689 (96.3%)	
要管理債権	76 (0.3%)	
3か月以上延滞債権	— (—)	
貸出条件緩和債権	76 (0.3%)	
危険債権	742 (3.1%)	—
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	53 (0.2%)	—
合 計	23,560 (100.0%)	—

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

融資業務に対する基本姿勢について

当金庫では、創立以来、「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫き、真にお客様の発展、繁栄のお役に立つ健全な融資を取扱っています。

融資は、ご用立てしたお金がお客様の健全な発展、繁栄につながり、利息とともに返済されることが基本であり、返済能力、返済計画に無理のある融資や、資金使途に問題のある融資、お客様のためにならない融資申込については、いくら担保や保証があっても、お断りしたり、計画の見直しをお勧めすることが「本当の親切」だと考えています。

こうした融資に対する基本姿勢は一貫しており、株や土地等への投機を目的とした融資は行ってこなかったため、不良債権も少なく、健全な経営内容を堅持しています。

また、当金庫では、単に融資をセールスするのではなく、事

業先等のお客様の悩みをお聞きして、ともに解決していくため、「商談会」「各種セミナー」「海外事業展開支援」「事業承継・M&A」「産学連携」「相続、税務相談等に関する専門家派遣サービス」等、地域の企業や事業先を応援するサービスを幅広く提供することで、地域の事業先の発展、繁栄に貢献することを大前提としています。

さらに、資金繰りの面でも、預貸率が58.51%と、潤沢な資金を有しているため、貸し渋りや、金融機関にとって都合の良い時だけ融資するといった「晴れの日に傘を貸す」というやり方ではなく、「雨の日にこそ傘を差し出す」という姿勢のもとに、地域の健全な中小企業や堅実な個人のお客様に対する、良質な資金の安定的な供給に取り組んできた結果、地域への資金供給の状況は、表⑤のようになりました。

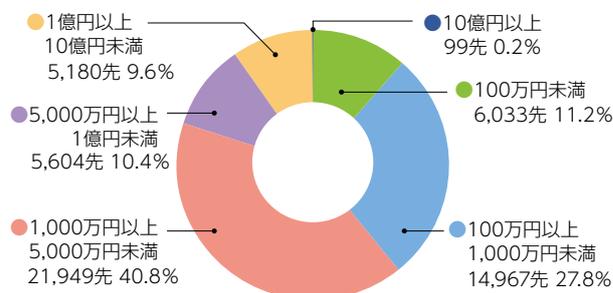
表⑤. 地域への資金供給の状況

事業者向け	1兆9,301億円	設備資金	1兆5,923億円	住宅ローン	3,682億円	預貸率 58.51%
個人向け	4,175億円	運転資金	7,622億円	消費者ローン*	57億円	
地方公共団体向け	67億円					

*リフォーム、教育、マイカー購入等を目的とした個人向けの貸出です。

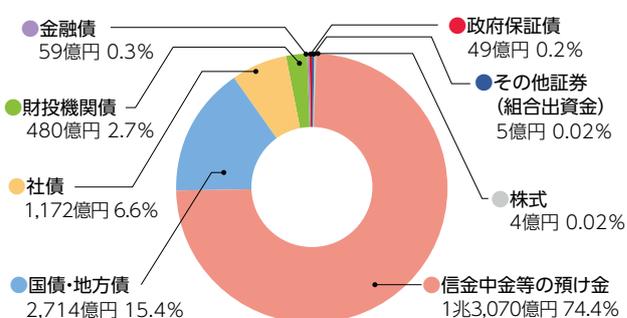
貸出金額階層別貸出先数について

当金庫では、1先あたりの貸出金額が1億円未満の先が90.2%を占めており、貸出が一部の大口先に偏ることなく、小口多数の貸出により構成されています。



余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫等の預け金が全体の74.4%を占め、その他は、国債・地方債が15.4%、国内優良企業の社債が6.6%等、安全性と流動性の高い債券がほとんどであり、株式はわずか0.02%しかなく、リスクの少ない、安全な運用に徹しています。



当金庫は、CO₂の削減等、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決や改善効果につながる事業、社会的課題の解決やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、公共的使命を持った社会貢献企業の役割を果たすべく、国内優良企業や独立行政法人等が発行するグリーンボンド、

ソーシャルボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド等の債券に投資しています。

*これらの債券は社債、財投機関債に含まれています。

貸借対照表

(金額単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	22,557	預金積金	4,023,797
預け金	1,307,070	コールマネー	218
有価証券	448,566	引当金	12,566
貸出金	2,354,542	再評価に係る繰延税金負債	8,205
外国為替	252	その他	10,945
有形固定資産	63,052	負債の部合計	4,055,732
無形固定資産	3,530	(純資産の部)	
繰延税金資産	16,623	出資金	44,854
その他	19,500	利益剰余金	141,506
貸倒引当金	△ 5,334	利益準備金	29,500
		その他利益剰余金	112,006
		特別積立金	98,650
		(社会福祉事業積立金)	1,450
		(配当準備金)	5,200
		当期末処分剰余金	13,356
		会員勘定合計	186,361
		その他有価証券評価差額金	△ 29,447*
		繰延ヘッジ損益	1,867
		土地再評価差額金	15,846
		評価・換算差額等合計	△ 11,732
		純資産の部合計	174,628
資産の部合計	4,230,361	負債及び純資産の部合計	4,230,361

(2025年3月31日現在)

損益計算書

(金額単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	46,912,013
資金運用収益	41,354,166
役員取引等収益	3,697,925
その他業務収益	491,970
その他経常収益	1,367,950
経常費用	39,412,355
資金調達費用	2,465,896
役員取引等費用	1,828,583
その他業務費用	3,509,894
経 費	30,252,571
その他経常費用	1,355,409
経常利益	7,499,657
特別利益	247,198
特別損失	964,896
税引前当期純利益	6,781,959
法人税等合計	2,095,644
法人税、住民税及び事業税	2,130,712
法人税等調整額	△ 35,067
当期純利益	4,686,314
繰越金(当期首残高)	8,701,783
土地再評価差額金取崩額	△ 31,310
当期末処分剰余金	13,356,787

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

※その他有価証券評価差額金の状況

(金額単位:百万円)

種 類	評価差額金
国 債	△ 20,321
地 方 債	△ 6,127
社 債	△ 3,090
株 式	82
投 資 信 託	-
外 国 証 券	-
その他の証券	9
合 計	△ 29,447

リスク管理態勢・コーポレートガバナンス態勢

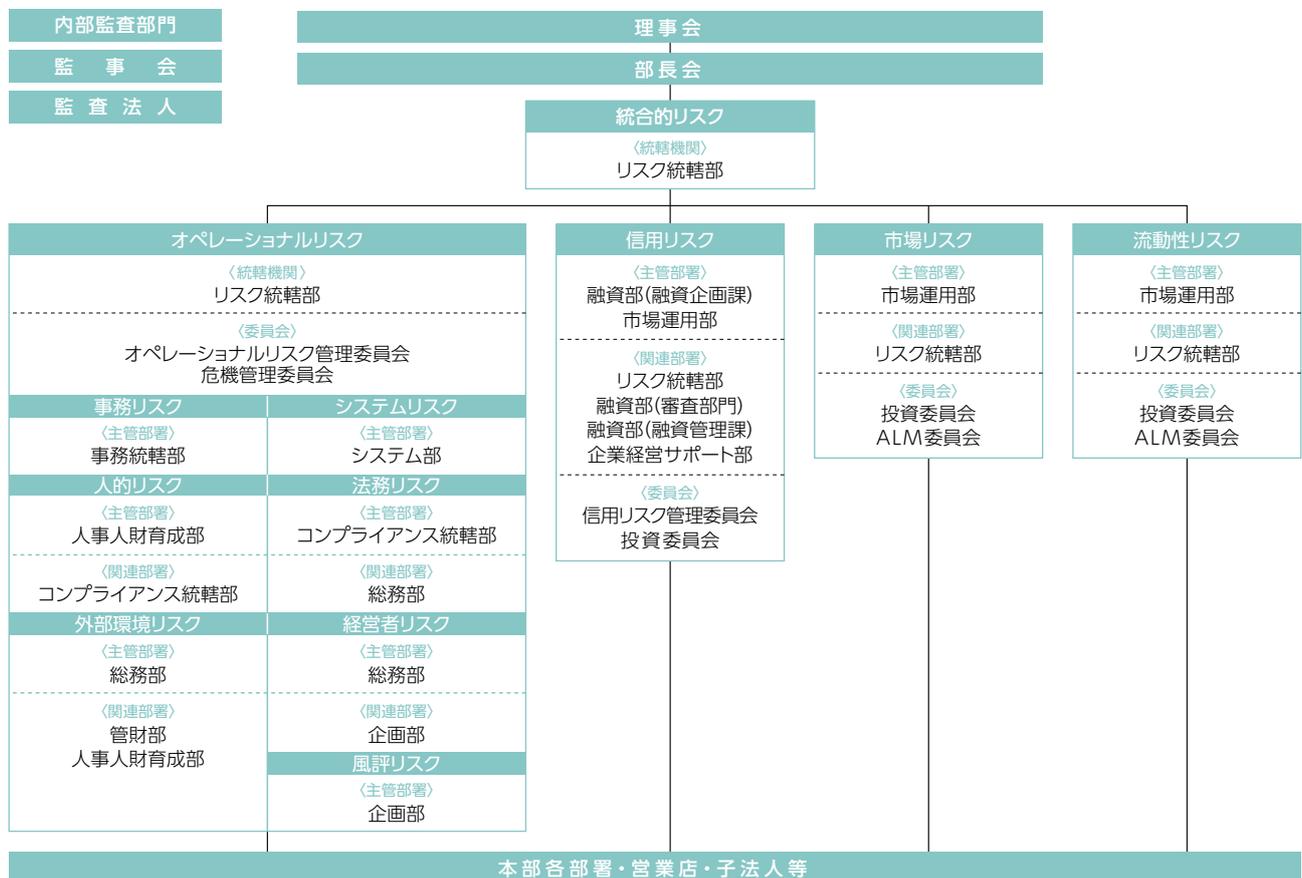
経営管理全般にわたる統合的リスク管理を強化、徹底しています

統合的リスク管理とは、金融機関の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれないリスク(与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等)も含めて、それぞれのリスク・カテゴリー毎(オペレーショナルリスク、信用リスク、市場リスク等)に評価したリスクを総体的に捉え、金融機関の経営体力(自己資本)と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を

行うことをいいます。

当金庫では、管理すべきリスクを「オペレーショナルリスク」「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」に分類し、理事会を最終責任機関とし、部長会、統轄機関、管理主管部署及び運営する委員会で対応する態勢を整え、適切なリスクのコントロール及び削減に努めています。

統合的リスク管理態勢



当金庫の役員

理事長	林 稔	副理事長	斉藤 任弘	副理事長	長谷部 義和	専務理事	作田 直昭	常務理事	西山 直宏
常勤理事	長野 賢史	常勤理事	鎌田 修	常勤理事	浅沼 和夫	常勤理事	卯月 雄一郎	常勤理事	中野 拓朗
常勤理事	三友 聡一郎	常勤理事	渡辺 哲也	常勤理事	松井 慶彦	非常勤理事	亀井 真紀		
常勤監事	坂本 豊	常勤監事	上原 秀生	非常勤監事	木村 正彦	非常勤監事(員外)	赤川 公男		

コーポレートガバナンス (企業統治) を重視した経営に取り組んでいます

コーポレートガバナンスとは、企業の違法行為を監視したり、少数に権限が集中する弊害をなくすことにより、企業を健全に運営すること、またはその仕組みのことですが、当金庫では、「理念・ビジョンを持つ」「ルールを明確にする」「制度を確立する」という3点を重視しています。

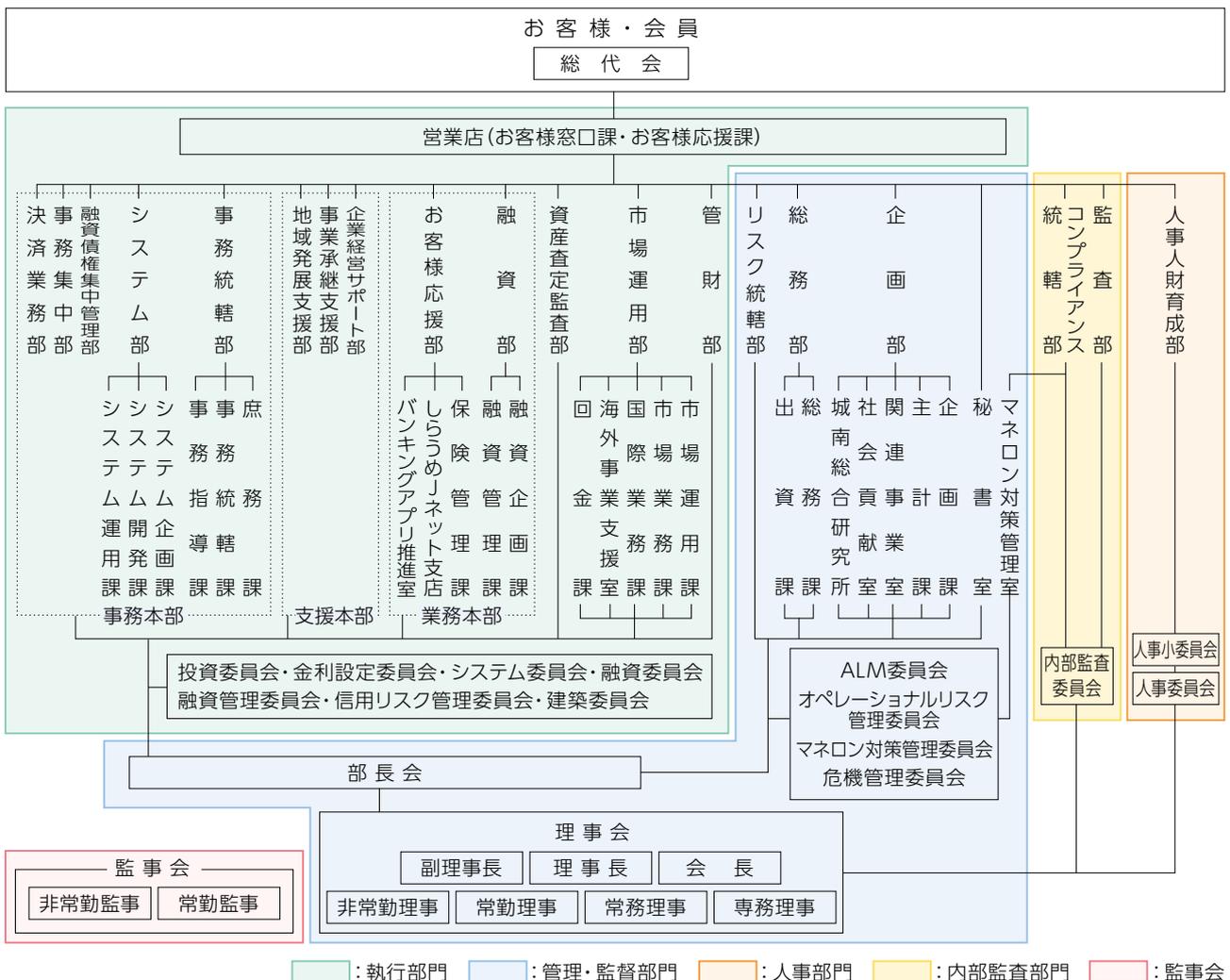
「理念・ビジョンを持つ」という点では、「中小企業の健全な育成発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」という3つのビジョンを掲げ、その実現に金庫一丸となって取り組んでいます。

次に、「ルールを明確にする」という点では、「理事の定年および任期を明確化する」「役職員の3親等以内の親族の入庫を禁止する」「中元・歳暮等であっても上司が部下から物品、商品券等を受け取ることを禁止する」等のルールを定め、厳格な運用に努めています。

最後に、「制度を確立する」という点では、本部組織を、業務に携わる「執行部門」、理事会を中心とした「管理・監督部門」「人事部門」「内部監査部門」「監事会」の5つに分けて、各部門が相互牽制を図っています。また、組織図においては、お客様を最上位とし、「お客様本位」の考え方を確実に実践する制度、体制を確立しています。さらに、金庫のすべての業務における内部管理態勢の適切性等を検証、評価する「内部監査委員会」を設置し、委員には1名以上の職員外理事をおくとともに、理事会の議長を理事長、副理事長を除く、理事会が選任した理事が務める等、金庫の「健全経営」「堅実経営」に努めています。

注) 職員外理事とは、以下の要件を満たす者とする。
 就任前5年間、金庫の理事（職員外理事を除く）、職員等および金庫の子会社の取締役、会計参与、執行役または使用人（以下「金庫の職員等」という）ではなかった者であること。
 ただし、理事候補となることを前提に、理事就任前の短期間（1年未満を目安とする）、金庫の職員等であった者は除く。常勤・非常勤の別は問わない。

組織図



個人の皆様への夢のある商品・サービス

「健全経営」「堅実経営」という経営方針のもと、安全確実な預金商品・サービスの提供や、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いにより、地域の皆様の豊かな暮らしを応援します。

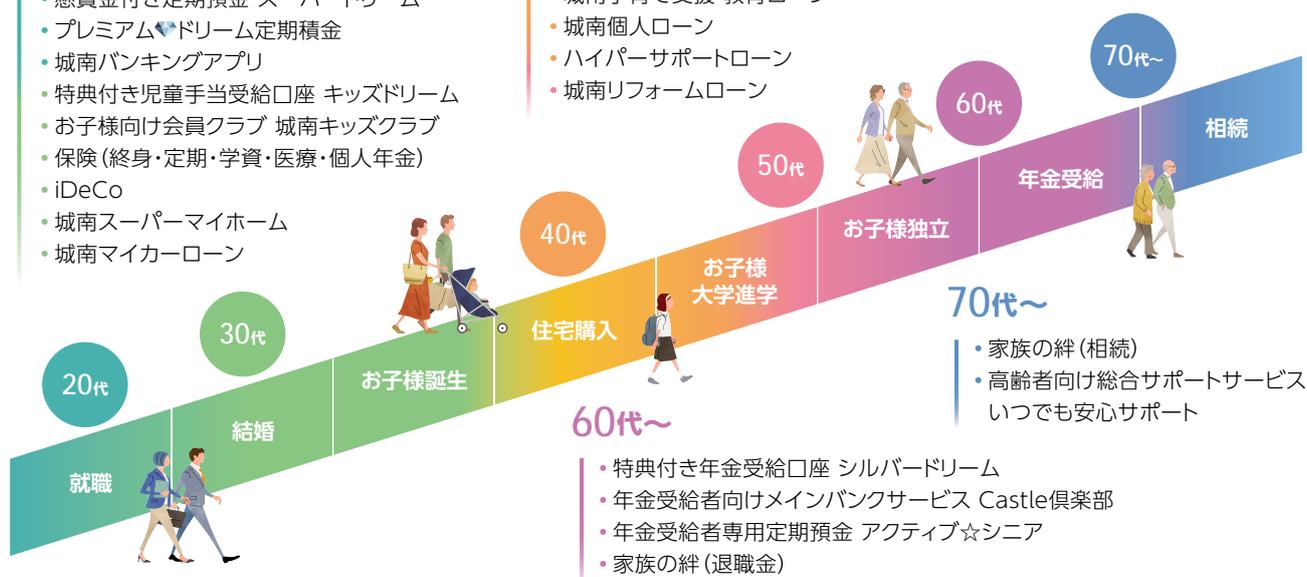
お客様のライフイベントや人生設計に合わせてさまざまな商品・サービスを提供します

20代・30代～

- ・懸賞金付き定期預金 スーパードリーム
- ・プレミアム◆ドリーム定期積金
- ・城南バンキングアプリ
- ・特典付き児童手当受給口座 キッズドリーム
- ・お子様向け会員クラブ 城南キッズクラブ
- ・保険(終身・定期・学資・医療・個人年金)
- ・iDeCo
- ・城南スーパーマイホーム
- ・城南マイカーローン

40代・50代～

- ・城南子育て支援 教育ローン
- ・城南個人ローン
- ・ハイパーサポートローン
- ・城南リフォームローン



70代～

- ・家族の絆(相続)
- ・高齢者向け総合サポートサービス
いつでも安心サポート

60代～

- ・特典付き年金受給口座 シルバードリーム
- ・年金受給者向けメインバンクサービス Castle倶楽部
- ・年金受給者専用定期預金 アクティブ☆シニア
- ・家族の絆(退職金)

懸賞金付き定期預金 スーパードリーム

懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」

10万円を1口として1本の抽せん権を付けた、個人のお客様を対象とした1年ものの定期預金です。抽せんで1等賞10万円や城南特選グルメ賞等、さまざまな懸賞金(品)が当たります。

1994年の取扱開始から長年にわたり地域の皆様からご好評いただいています。

特典付き児童手当受給口座

キッズドリーム

特典付き児童手当受給口座「キッズドリーム」

児童手当の受給口座を当金庫にご指定いただいた方を対象としたサービスです。

一定の条件を満たされた方に1万円相当の「特典サービス」をプレゼントいたします。

また、1年以上継続して児童手当を受給していただいている方を抽せんで各種イベント等へご招待するサービスもご用意しています。

プレミアム◆ドリーム 定期積金 -The PREMIUM DREAM-

「プレミアム◆ドリーム定期積金」

定期積金の満期日以後に、懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」に預け替えていただくことで、定期積金の預入期間に応じて、初回預入期間に限りスーパードリームに最大0.5%の優遇金利を上乗せします。

「プレミアム◆ドリーム定期積金」の預入期間は、1年、2年、3年、4年、5年からお選びいただけます。

城南キッズクラブ

お子様向け会員クラブ「城南キッズクラブ」

各種イベントや誕生日プレゼント等を通じてお子様に楽しい思い出や喜びを提供する、お子様向け会員クラブです。

これまでに、ご家族でお楽しみいただける「京急ミュージアム」への特別招待や「いちご狩り」等のイベントを開催しています。

シニア世代のお悩みに寄り添う

特典付き年金受給口座 シルバードリーム

特典付き年金受給口座「シルバードリーム」

公的年金の受給口座を当金庫にご指定いただき、一定の条件を満たされた方に、1万円相当の「特典サービス」をプレゼントいたします。

すでにご指定いただいているお客様には、毎年のお誕生日プレゼントのほか、ご希望の方を抽選で観劇等にペアでご招待するサービスもございます。

年金受給者向けメインバンクサービス

Castle 倶楽部

年金受給者向けメインバンクサービス「Castle倶楽部」

当金庫で公的年金を受給いただき、メインバンクとしてご利用いただく方を対象とした定期預金です。

特定のお取引をいただくことで、1項目ご利用につき優遇金利として城南スーパー定期1年もの店頭表示金利に0.1%を上乗せいたします。なお、優遇金利の上乗せは最大0.2%となります。

年金受給者専用定期預金 アクティブ★シニア

年金受給者専用定期預金「アクティブ★シニア」

当金庫で新たに公的年金を受給いただくお客様を対象に、初回預入期間に限り特別な金利を適用する定期預金です。

特別金利でシニアのお客様のアクティブな暮らしをサポートいたします。

特別金利定期預金

家族の絆

特別金利定期預金「家族の絆」

相続によりご家族から引き継がれた大切な資産およびご自身が取得された退職金を特別な金利でお預かりする定期預金です。

相続で引き継がれた資産は相続手続き完了後1年以内、退職金については受取後3年以内の方が対象となります。

高齢者向け総合サポートサービスのご紹介

ご高齢やご病気等の理由で店頭に来店できない場合等でも、お客様に安心してお取引いただけるよう、9のラインナップからご希望のサービスをお選びいただける高齢者向け総合サポートサービス「いつでも安心サポート」を取扱っています。

また、2021年からは、預金をされているご本人が認知症になってしまい、認知・判断能力を喪失されてしまった場合でも、ご本人に代わってあらかじめお届けたいただいた代理人の方がお手続きすることを可能にする「将来のための代理人サービス」の取扱いを開始し、大変ご好評いただいています。

「いつでも安心サポート」メニュー

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ①代理人サービス | ⑤「任意後見制度」紹介サービス |
| ②家族信託預金・融資 | ⑥後見制度支援預金 |
| ③「公正証書遺言作成お手伝い」紹介サービス | ⑦リバースモーゲージサービス |
| ④「遺言執行」紹介サービス | ⑧「有料老人ホーム」紹介サービス |
| | ⑨いつでも安心口座 |

③については一般社団法人しんきん安心サポート、④・⑤については一般社団法人しんきん成年後見サポートがそれぞれ対応いたします。

一般社団法人しんきん安心サポート…公正証書遺言の作成のサポート等を行う信用金庫のOBで構成された法人です。
一般社団法人しんきん成年後見サポート…品川区内に営業店を持つ5つの信用金庫(さわやか信用金庫、芝信用金庫、湘南信用金庫、目黒信用金庫、城南信用金庫)が、品川区社会福祉協議会等の関連団体、有識者の協力を得て2015年1月に設立した我が国初の金融機関による成年後見事業の法人です。

※商品詳細につきましては、各営業店店舗にお問い合わせください。

高齢者向け 総合サポートサービス いつでも安心 サポート



城南の住宅ローン

城南スーパーマイホーム

城南スーパーマイホーム

住宅の新築、購入、増改築資金等、お客様のニーズや資金計画にお応えできる、定期預金金利に連動した当金庫独自の住宅ローンです。

他金融機関からの借り換えにもご利用いただけます。

消費者ローン

消費者ローン

お客様のライフイベントに合わせたオーダーメイドのご融資として、「マイカーローン」、「リフォームローン」、「無担保住宅ローン」、「ハイパーサポートローン」等を取扱っています。

他金融機関からの借り換えにもご利用いただけます。

国民年金基金

国民年金基金

2024年1月より、主に個人事業主のお客様向けに、老後資金の不足分に備えることができる「国民年金基金」を取扱っています。

掛金全額を社会保険料控除として課税所得額から控除できるため、税制上のメリットを享受しながら、老後生活の土台をしっかりと築くことができます。

保険商品の取扱い

保険商品の取扱い

相続対策や病気等への備え、老後の生活費の準備等、お客様のさまざまなニーズにお応えするため、保険商品の窓口販売を行っています。

2024年4月からは、年金受給者向け団体傷害保険「シニアサポーター」を取扱っています。

個人向け「城南バンキングアプリ」



※画面はイメージです

スマートフォンで口座開設や取引状況の確認が簡単にできる個人向け「城南バンキングアプリ」を取扱っています。



<特長>

- ・預金の取引状況がリアルタイムで確認できます。
- ・最短で翌営業日に口座開設が可能です。
- ・スマートフォンに登録されている生体認証機能を使用することで、より簡単に、より安全にログインして利用することが可能です。
- ・当金庫のイメージキャラクターであるシナモロールが、アプリ通帳のデザインをはじめ、さまざまなシーンで登場します。
- ・インターネットバンキングに接続して、定期預金の加入や振込が可能です。
- ・そのほか、季節限定のデザインや壁紙のプレゼント、アプリ利用者様限定のお得なクーポンもございますので、ご利用いただきながらぜひお楽しみください。
- ・今後、アプリからの定期預金、定期積金の加入やお客様情報(住所、電話番号等)の変更ほか、随時機能追加をすることで個人のお客様の利便性を高めていきます。

- このほかにも、さまざまな商品・サービスをご用意しています。
- 必要書類や諸条件等につきましては、各営業店店舗にお問い合わせください。
- 本誌に掲載している商品内容、パンフレット、チラシ等は原則2025年4月1日現在のものです。
- ローンのお申込みの際は、当金庫所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 保険商品は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。

事業者の皆様への本業支援

城南なんでも相談プラザ

本店3階およびい仕事おこしプラザに所在する「城南なんでも相談プラザ」では、中小企業診断士等を含む専門家チームにより、売上増加や販路拡大、創業・起業、技術開発、事業承継・M&A、税務・法律等お客様のさまざまなご相談にワンストップでお応えするほか、提携業者のご紹介等も行っています。

また、製造業の技術や生産管理等に精通した人材を外部から「ものづくりコンシェルジュ」として採用し、地域の中小企業の工場等を訪問する等、より専門的な目線からお客様の課題解決に努めています。

相談内容によっては直接ご自宅や事務所にお伺いすることもできますので、お気軽に専用ダイヤル(03-3493-8116)またはEメールよりお申込みください。詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。



■城南なんでも相談プラザ相談受付件数(2024年度)

相談件数	3,878件
提携業者紹介件数	2,743件

事業承継を支援

中小企業の経営者の高齢化が進む中、企業が有する優れた技術やノウハウ等を円滑に次世代に承継していくことが、日本経済の活力維持と発展に不可欠であることから、当金庫では「事業承継支援部」が中心となり、多くの企業が直面する事業承継に関するさまざまな課題解決に取り組んでいます。



また、企業の価値創造を得意とする経営コンサルタントを講師にお招きし、お取引のある若手経営者や後継経営者の方々が、企業のさらなる飛躍、発展のため、共に学び、見識を高めるとともに、メンバー相互の絆を深めていただくことを目的とした、「城南信用金庫“未来塾”」を毎年開講しています。

■事業承継支援部相談受付件数(2024年度)

相談件数	343件
------	------

海外事業展開を支援

グローバル化の進展や、輸出企業にとって追い風となる円安の影響等により、海外でのビジネスに関心が高まっており、海外事業展開に関するご相談が数多く寄せられています。



こうした中で、当金庫では、専門部署である「海外事業支援室」を設置し、JETRO等の政府機関や各分野の専門家と連携して、海外子会社設立や海外での販路開拓、外国人材の活用といった本業支援に加えて、日本の親会社から海外の子会社へご融資する「親子ローン」といった金融支援、オンライン上で送金手続きが完了する「城南外為Webサービス」による外国送金のお取扱い等、お客様の海外事業展開を積極的にご支援しています。

■海外事業支援室相談受付件数(2024年度)

相談件数	80件
提携業者紹介件数	50件

「J-Create+」 「創業支援スクール」による創業支援

地域経済の発展と雇用の創出に寄与するため、「未来を創造するビジネスを、社会にもっと+ (プラス) する」をコンセプトとした創業支援施設「J-Create+ (ジェイクリエイイトプラス)」を連沼支店内に設置しています。国内の金融機関の支店内では初となる24時間使用可能な施設であり、専属のインキュベーションマネージャーと「城南なんでも相談プラザ」の専門家が連携して創業を支援します。

創業を検討されている方や創業間もない方には、必要な事業計画やマーケティング等の知識を身に付けていただくため、「創業支援スクール」を開講しています。



ビジネス支援事業の後援

ビジネスコンテスト等において「よい仕事おこし賞」を設ける等、地元の中企業の皆様の活動を積極的に支援しています。



名称

第15回ビジネス創造コンテスト
第14回ウーマンズビジネスグランプリ2025 in 品川
かわさき起業家オーディション
第15回地域再生大賞
横浜ビジネスグランプリ2025
第15回日本でいちばん大切にしたい会社大賞
NIKKEI THE PITCH GROWTH

「城南友の会」を運営



お客様同士の交流、親睦を図る「お客様の会」を各営業店に設立し、その取りまとめをする組織「城南友の会」の運営事務局を本部に設置しています。2025年4月21日には第12回「城南友の会総会」を開催し、講演会を行いました。

商談会等を開催

全国の事業者の連携の拠点である「よい仕事おこしプラザ」を中心に、事業者の販路拡大をご支援する「商談会」をはじめ、さまざまな出会いの機会を提供する「交流会」、その時々の方々に共通するお悩みごとの解決をお手伝いする「相談会」等を随時開催しています。



■ 2024年度に開催した事業者向け商談会・相談会等実績

開催日	商談会等	参加企業数	商談・相談等件数
2024年4月12日	建設関連企業（パナソニックホームズ(株)・旭化成ホームズ(株)・サンヨーホームズ(株)）との商談会（ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)）	20	29
5月22日	人事・労務なんでも大相談会	26	36
5月24日	建設関連企業との商談会（京急建設(株)）	21	21
7月 8日	三金庫合同 同業種交流会（共催：足立成和信用金庫・西武信用金庫）	56	165
7月17日	新現役交流会（共催：経済産業省関東経済産業局）	14	76
8月21日	レンタルのニッケンとの商談会	13	16
9月 6日	城南地元応援商談会	44	159
9月20日	建設関連企業との商談会（三井ホーム(株)・三菱地所ホーム(株)）	16	26
10月16日	建設関連企業との商談会（京都アンプリチュード(株)）	13	13
11月18日	建設関連企業との商談会（株長谷工コーポレーション）	11	11
2025年3月 7日	城南スイーツ商談会	37	117
3月19日	建設関連企業との商談会（積水ハウス(株)）	15	15
	計	286	684

「新現役交流会」を開催

2024年7月「新現役交流会（共催：経済産業省関東経済産業局）」を開催しました。技術的課題や経営改善、販路拡大等の課題を抱える中小企業と、豊富な知識や経験、人脈を持つ企業のOB人材（新現役）をマッチングする交流会で、中小企業14社と新現役の方との面談が76件行われました。



「同業種交流会」を開催

同業種のお客様同士とのネットワークづくりをご支援する「同業種交流会」を開催しています。2024年7月には、足立成和信用金庫、西武信用金庫とともに、「金属加工」関連企業を対象とした三金庫合同の同業種交流会を開催する等、ビジネスのさらなる発展の機会を提供しています。



城南ものづくりコンソーシアムサービス

2025年4月より開始した「城南ものづくりコンソーシアムサービス」は、ものづくり企業のお客様の新規受注をご支援するサービスです。

本サービスは、ものづくり企業を営むお客様を対象としており、参加企業の技術や設備、得意分野等をデータベースとして取りまとめておき、このデータベースから大手・中堅企業にPRすることで発注案件を誘引し、参加企業の皆様との商談をコーディネートします。

当金庫では10年以上前から大手製造業のOB人材で組織した「ものづくりコンシェルジュ」が、ものづくり企業からの技術的な相談を承っており、これらの経験を通じて培ってきたノウハウを活用して取組む新たなサービスです。



建設案件紹介サービス ツナガル

2025年4月より開始した「建設案件紹介サービス『ツナガル』」は、建設関連企業のお客様の販路拡大をご支援するサービスです。

当金庫とお取引のある建設関連企業のお客様は、本サービスを利用することで、大手の建設関連企業からの具体的な案件の引き合いが期待され、当金庫が独自に連携している大手の建設関連企業と、建設案件で「ツナガル」ことができます。

2025年4月現在、案件を発注する大手の建設関連企業としてスターツCAM株式会社等、スターツグループ4社と連携しておりますが、今後さらなる連携企業の拡大を図ってまいります。



Small Biz コネクト

「Small Biz (スモール Biz) コネクト」はコツコツと着実に成長しようとしている創業間もない企業が、自社のサービスや製品をプレゼンするイベントです。2025年2月13日に開催した第1回では、「人手不足の解消」をテーマに7社が登場し、当金庫のお客様をはじめ、大手企業、都内信用金庫や行政の方々に対し自社商品のPRを行いました。当日は多くの商談が生まれ、発表した企業が成長するきっかけとなるイベントとなりました。

今後も、テーマを変化させながら、第2回、第3回と継続的に創業者の支援に取組んでまいります。



城南サステナビリティ・リンク・ローン (城南SLL)

中小企業の脱炭素経営の実現に向けて、CO₂排出量を重要業績評価指標 (KPI) としたうえで、サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs) を設定し、その達成状況に応じて、融資利率が変動する仕組みとなる、企業の持続可能な経済活動の促進を目的とした融資商品です。



東京都とサステナブルファイナンス活性化に向けた連携協定を締結

事業者向け「城南バンキングアプリBiz」



※画面はイメージです

事業を営んでいる方がスマートフォンで簡単に普通預金・当座預金・定期預金等の取引状況の確認や口座開設の申込みができる「城南バンキングアプリBiz」を取扱っています。

アプリダウンロード



iPhone



Android

<特長>

- ・アプリを使用すれば、外出先で入出金の確認が可能です。
- ・代表者が許可をした利用者を最大5名まで登録することができます。(経理担当者を利用者として登録することができますので、アプリを活用することで、より効率的に日々の収支管理が可能となります。)
- ・スマートフォンに登録されている生体認証機能を使用することで、より簡単に、より安全にログインして利用することが可能です。
- ・取引のない方でも、アプリから普通預金口座開設の申込予約が可能です。
- ・お問い合わせはチャットボットで365日受付していますので、気軽にお問い合わせください。
- ・今後、事業を営む方向へのサービス拡充を検討していきます。

よい仕事おこしネットワークの取組み

全国の信用金庫とそのお取引先企業、自治体、教育機関、マスコミ等が参加し、知恵を出し合いながら各種の連携した活動を行う「よい仕事おこしネットワーク」の取組みを推進しています。

“よい仕事おこし”フェア

全国の信用金庫のお取引先企業等が一堂に会することで、新たな出会いの機会を創出するビジネスマッチングイベント「よい仕事おこし」フェアを2012年から開催しています。

第1回のフェアは、東日本大震災による被災地の復興支援を目的とし、東京や東北の信用金庫を中心に63金庫の協賛を得て東京ドームで開催しました。

2024年12月3日・4日に開催した第12回のフェアは、円安や原材料・人件費の高騰の影響を受けている事業者、販路拡大を求めている事業者への本業支援に加え、「人材不足」や「地域

活性化」をテーマに掲げ、「ものづくり」「食品」「地域連携」の530事業者(491ブース)にご出展いただき4,170件の商談が行われました。また、2024年1月に発生した能登半島地震からの復興を支援するため「北陸応援エリア」として16の特設ブースを設置しました。

他にも「よい仕事おこしネットワーク」が連携する大学等の学生にご来場いただき、中小企業や自治体の魅力を知っていただく機会を創出しました。



第12回フェア来場者数	22,940人
商談件数	4,170件

2025“よい仕事おこし”フェア 入場無料

日本全国47都道府県の企業が集結し、信用金庫のネットワークが繋がることで、地域経済の活性化に向け新たな発見、価値創出が生まれています。当フェアの開催を通じて私たちが大切なお客様同士の懸け橋となり地域の「よい仕事おこし」を全力で応援いたします。

日時・場所 2日間開催

11/26(水)・27(木)

10:00~17:00 10:00~16:00

東京ビッグサイト南3・4ホール

お問い合わせ先

「よい仕事おこし」フェア 実行委員会 事務局
TEL.03-3493-8130 (受付時間：平日9:00~17:00)
E-mail.yoishigoto-fair@jsbank.co.jp



よい仕事おこしネットワークサイト

「よい仕事おこしネットワークサイト」は、信用金庫とお取引のある全国の事業者の方々にご利用いただける、広域でのビジネスマッチングを実現するためのインターネットを活用したプラットフォームです。

よい仕事おこしネットワークに加盟する212信用金庫には、それぞれ専属のコーディネーターが配置されており、コー

ディネーターが参加企業に適した案件を能動的に提案することで、スムーズで精度の高いマッチングを実現しています。

現在までに14,000を超える事業者が参加し、日々「売りたい」「買いたい」「こんなことで困っている」「こんな技術を探している」等の情報交換・マッチングが行われ、地域を超えて、数多くの素晴らしい実績が挙がっています。



よい仕事おこし
ネットワークサイト
はこちら



(2025年3月末現在)

参加企業数	14,396社
登録案件数	3,518件

興こし酒プロジェクト「絆舞」

「よい仕事おこしネットワーク」では、地域連携と被災地復興支援を目的として、被災地をはじめとする全国のお米をブレンドして造る日本酒「絆舞」の醸造に、2017年から取組んでいます。8年目となる2024年は、47都道府県260地域のお米が集結しました。今回は2024年1月に発生した能登半島地震の復興を支援するため、石川県七尾市の書家の三藤観映様の揮毫による特別ラベルを作成いたしました。三藤様の「負けれん」という強い意志と、能登復興への深い想いが込められています。

なお「絆舞」の売上1本につき100円が被災地に寄付されます。



DX (デジタル・トランスフォーメーション) 戦略

生成AIの活用

当金庫では、金庫の業務効率化および役職員一人ひとりの生産性向上を図り、そこで捻出した時間をお客様と接する時間にシフトしていくため、株式会社neoAIが提供する「neoAI Chat」を導入し、生成AIを金庫業務で活用しています。



株式会社neoAI 千葉CEOと林理事長

BPR・情報共有化ツールとして「グループウェア」を活用



出展元: POWER EGG3.0 (ディサークル株式会社提供) <https://poweregg.d-circle.com/>

当金庫では、これまでの既成概念を払拭し、抜本的な業務改革を行うことで、役職員一人ひとりの生産性向上を図ることを目的に「グループウェア」を活用しています。

また、「グループウェア」を活用することで、役職員間の情報やナレッジの共有化、金庫内のコミュニケーションの円滑化にもつながっています。

データ利活用の取組み



データ分析ソフトウェアKI
(株式会社キエンス)

当金庫では、信用金庫の生命線である「Face to Face」を大切に、お会いするお客様に最適なサービスのご提案ができるよう、データ分析に取り組んでいます。

これにより渉外担当者の「経験と勘」とデータ分析の相乗効果で、お客様に寄り添うことができる効果的な渉外活動を目指しています。

「DX認定事業者」の認定を取得

当金庫は、2022年6月に経済産業省が定めるDX認定制度において、「DX認定事業者」として認定され、2024年6月1日、「DX認定事業者」としての認定を更新しました。



中長期的な目標の実現に向けて

当金庫では、金庫を取り巻く経営環境が大きく変化する中で、金庫の5年後、10年後の姿、それを実現するための課題を役職員全員が共有し、その課題解決に向けた施策・役割・進捗状況を可視化することで、皆が一枚岩となり、同じ方向を向き、お客様と地域の「笑顔」のために取り組むことができると考え、「中長期的にめざすべき姿」を示すとともに、「地域」・「お客様」・「職員」への還元、そして「将来」への投資を実現するために、盤石な経営基盤の確立を中長期的な目標としています。

中長期的な目標

「地域」・「お客様」・「職員」への還元、そして「将来」への投資を実現するために、
盤石な経営基盤の確立をめざします。



中長期的な目標を実現するための10本柱

金庫を取り巻く経営環境を踏まえて、中長期的な目標を実現するため、
以下の「10本柱」を中心とした取組みを進めていきます。

01 人的資本経営の高度化

02 人財の即戦力化をめざした
抜本的な研修制度の改革

03 預金と融資の増強

04 本業支援・事業承継支援・
経営改善支援等の更なる高度化

05 店舗チャネルの再構築・
遊休資産の有効活用

06 DX・BPRの推進

07 収益基盤を支える余資運用

08 リスク管理・マネロン等対策にかかる
安定的な態勢の確立

09 ガバナンスの強化・本部組織改革

10 BCP・SDGs等への対応

やりがいを持ち、安心して働ける職場づくり

当金庫では、性別や年齢等に関係なく、全ての職員がお客様との接点を持ち、「Face to Face」の活動で地域社会の発展に貢献する「全員営業体制」の実現を目指した人財育成、働き方改革に取り組んでいます。

城南信用金庫のキャリアパス

職員のスキルアップや効果的な研修の実施、人員配置、ジョブローテーションを実践する人財育成プログラム「城南信用金庫キャリアパス」を整備しています。キャリアパスに

おいては、「全員営業体制」の実現を目指し、入職以降段階を踏んで必要なスキルが身につく人事配置を行っています。



主な資格取得状況・外部機関出向実績

入職から10年目程度までを“キャリア形成期”として捉え、信用金庫の日常業務遂行に必要な知識を身につけるための「全信協基礎・上級実務試験」や、お客様の状況に応じたライフプランの立案・相談に必要な技能を身につけるための「ファイナンシャル・プランニング技能検定（FP技能検

定）3級・2級」を5年目までの奨励資格とし、さらに宅地建物取引士や中小企業診断士をはじめとする専門資格の取得を奨励しています。また、人財の多様性を確保し、より柔軟な業務運営を行うことを目的として、概ね6か月から2年を目安に、職員を外部機関へ出向派遣しています。

主な資格取得・試験合格状況
基準日（2025年3月末現在、延べ人数）

	人数		人数
1級 FP技能検定	40名	行政書士	10名
2級 FP技能検定	800名	社会保険労務士	7名
宅地建物取引士	209名	基本情報技術者	6名
ITパスポート	89名	司法書士	1名
中小企業診断士	32名	税理士	1名

主な外部機関出向実績
基準日（2024年度実績）

	人数	期間
中小企業大学校	1名	6か月
復興庁	1名	1年
川崎市	1名	1年
大田区産業振興協会	1名	1年
日本政策金融公庫	1名	1年
関東経済産業局	1名	2年
全国信用金庫協会	1名	2年

城南信用金庫アルムナイ・ネットワーク

当金庫では、さまざまな事情で当金庫を退職された元職員の方が、新たに得た経験・知識・スキル等を活かし、再び当金庫で働くことを歓迎しています。

2025年5月から「城南信用金庫アルムナイ・ネットワーク」を構築し、アルムナイ同士、または職員との交流・つながりを促進する活動に取り組んでいます。

登録はこちら



公式アプリ
で登録



Webで
登録

数字で見る城南信用金庫



城南信用金庫の 社会貢献活動

青少年の健全な育成

「しんきんCUP世田谷区小学生将棋大会」を開催



「城南CUPフットサル」を開催



学童野球大会「城南CUP」「城南ガールズCUP」を開催



公益財団法人小原白梅育英基金を通じて有為な人材を育成



被災地支援

「北陸応援マルシェ」を開催



地域連携

品川区と包括連携協定を締結



大田区と包括連携協定を締結



報道写真パネル展を開催



地域のイベント

狛江古代カップ第32回多摩川いかだレースに参加



第34回馬込文士村大桜まつりに参加



祖師谷昇進会 盆踊り大会に参加



横浜サンタプロジェクト2024に参加



第18回中延ねぶた祭りに参加



ライラック祭り2024に参加



地域の安心・安全を守る活動

NTTドコモと「災害時の連携に関する協定」を締結



特殊詐欺の未然防止



警察署と連携した取組み



防火防災訓練に参加



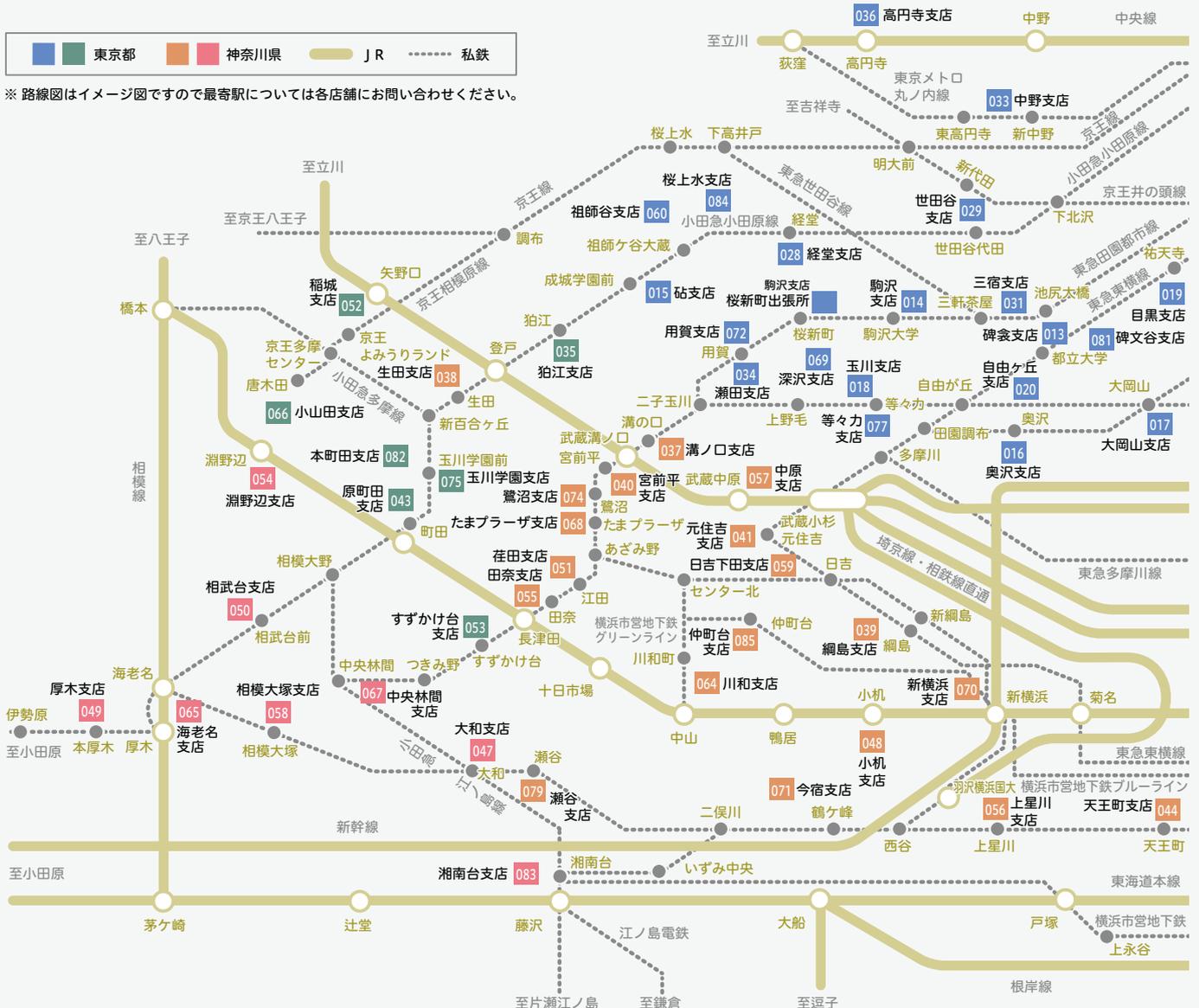
交通事故防止運動に参加



店舗のご紹介

■ ■ 東京都 ■ ■ 神奈川県 — JR - - - 私鉄

※ 路線図はイメージ図ですので最寄駅については各店舗にお問い合わせください。



東京都

品川区 7 店舗

001 営業部本店	〒141-8710 品川区西五反田7-2-3	03(3493)8111
002 品川	〒140-0004 品川区南品川1-4-25	03(3471)3171
003 大井	〒140-0014 品川区大井1-6-10	03(3774)1051
012 荏原	〒142-0054 品川区西中延1-4-16	03(3786)1131
062 大崎	〒141-0032 品川区大崎2-6-11	03(3491)8771
073 西大井	〒140-0015 品川区西大井1-3-3-101	03(3773)8511
076 立会川	〒140-0013 品川区南大井4-6-1	03(3298)3341

大田区 15 店舗

004 大森	〒143-0014 大田区大森中1-7-1	03(3762)3511
005 入新井	〒143-0016 大田区大森北1-26-3	03(3763)2311
006 馬込	〒143-0025 大田区南馬込5-2-9	03(3771)0101
007 池上	〒146-0082 大田区池上6-4-1	03(3751)5121
008 蒲田	〒144-0052 大田区蒲田5-26-13	03(3733)8181
009 六郷	〒144-0046 大田区東六郷3-2-10	03(3738)5121
010 矢口	〒146-0093 大田区矢口1-8-8	03(3750)4161
011 羽田	〒144-0047 大田区萩中3-8-5	03(3741)7791
017 大岡山	〒145-0062 大田区北千束3-31-7	03(3727)3135
024 雪ヶ谷	〒145-0067 大田区雪谷大塚町7-9	03(3720)4131
032 蓮沼	〒144-0051 大田区西蒲田6-32-11	03(3732)3211
蓮沼支店 西蒲田出張所	〒144-0051 大田区西蒲田1-22-13	03(3755)0131

061 蒲田本町	〒144-0053 大田区蒲田本町2-19-1	03(3736)1571
078 大田文化の森	〒143-0024 大田区中央2-12-3	03(3777)4911
080 久が原	〒146-0085 大田区久が原3-35-1	03(5700)2531

目黒区 4 店舗

013 碑倉	〒152-0031 目黒区中根1-1-14	03(3717)1131
(仮店舗: 〒152-0035 目黒区自由が丘1-13-16 城南信用金庫 自由ヶ丘支店2階)		
019 目黒	〒153-0052 目黒区祐天寺2-12-17	03(3712)1161
020 自由ヶ丘	〒152-0035 目黒区自由が丘1-13-16	03(3717)3161
081 碑文谷	〒152-0003 目黒区碑文谷4-24-21	03(5704)0731

世田谷区 14 店舗

014 駒沢	〒154-0011 世田谷区上馬4-10-1	03(3414)3161
駒沢支店 桜新町出張所	〒154-0012 世田谷区駒沢3-27-1-101	03(3412)8541
015 砧	〒157-0066 世田谷区成城2-26-17	03(3416)3171
016 奥沢	〒158-0083 世田谷区奥沢3-30-14	03(3720)4151
018 玉川	〒158-0082 世田谷区等々力3-8-1	03(3701)2156
028 経堂	〒156-0052 世田谷区経堂1-12-7	03(3429)0161
029 世田谷	〒155-0033 世田谷区代田5-12-5	03(3414)3126
031 三軒茶屋	〒154-0001 世田谷区池尻3-30-8	03(3413)3211
(仮店舗: 〒153-0043 目黒区東山3-8-1 東急池尻大橋ビル6階)		
034 瀬田	〒158-0095 世田谷区瀬田3-3-5	03(3700)7181
060 祖師谷	〒157-0071 世田谷区千歳台2-13-4	03(3484)8471



069 深 沢	〒154-0012	世田谷区駒沢 5-15-12	03(3705)5511
072 用 賀	〒158-0097	世田谷区用賀 3-27-4	03(3707)5611
077 等 々 力	〒158-0082	世田谷区等々力 2-7-2	03(3702)3851
084 桜 上 水	〒156-0045	世田谷区桜上水 2-6-4	03(5374)8821

千代田区 2 店舗

021 神 田	〒101-0047	千代田区内神田 3-22-7 JS 神田多一ビル 2 階・3 階	03(3252)8251
023 九 段	〒101-0051	千代田区神田神保町 3-1	03(3265)0631

港区 2 店舗

022 新 橋	〒105-0004	港区新橋 3-7-7	03(3502)8251
026 青 山	〒107-0061	港区北青山 2-12-14	03(3401)2131

渋谷区 1 店舗

025 渋 谷	〒150-0002	渋谷区渋谷 3-8-10	03(3400)6246
---------	-----------	--------------	--------------

中央区 1 店舗

030 銀 座	〒104-0061	中央区銀座 1-18-8	03(3535)2411
---------	-----------	--------------	--------------

中野区 1 店舗

033 中 野	〒164-0011	中野区中央 5-16-1	03(3381)7136
---------	-----------	--------------	--------------

杉並区 1 店舗

036 高 円 寺	〒166-0002	杉並区高円寺北 2-41-21	03(3330)3211
-----------	-----------	-----------------	--------------

狛江市 1 店舗

035 狛 江	〒201-0014	狛江市東和泉 1-30-1	03(3489)5191
---------	-----------	---------------	--------------

町田市 5 店舗

043 原 町 田	〒194-0021	町田市中町 2-3-4	042(725)4511
053 すずかけ台	〒194-0002	町田市南つくし野 3-7-1	042(796)4811
066 小 山 田	〒194-0204	町田市小山田桜台 1-20	042(797)2111
075 玉 川 学 園	〒194-0041	町田市玉川学園 7-4-1	042(729)7311
082 本 町 田	〒194-0032	町田市本町田 3251-3	042(721)9891

稲城市 1 店舗

052 稲 城	〒206-0812	稲城市矢野口 589	042(377)7011
---------	-----------	------------	--------------

神奈川県

川崎市 6 店舗

037 溝 ノ 口	〒213-0001	川崎市高津区溝口 1-14-3	044(833)0321
038 生 田	〒214-0038	川崎市多摩区生田 7-6-3	044(922)0141
040 宮 前 平	〒216-0006	川崎市宮前区宮前平 1-10-8	044(866)9121
041 元 住 吉	〒211-0025	川崎市中原区木月 3-16-1	044(411)2141
057 中 原	〒211-0053	川崎市中原区上小田中 6-14-8	044(711)3651
074 鷺 沼	〒216-0005	川崎市宮前区土橋 3-2-4	044(854)2511

横浜市 16 店舗

039 綱 島	〒223-0053	横浜市港北区綱島西 1-10-7	045(541)8021
044 天 王 町	〒240-0003	横浜市保土ヶ谷区天王町 2-47-3	045(333)1561
045 鶴 見	〒230-0061	横浜市鶴見区佃野町 19-5	045(573)1881
046 六 角 橋	〒221-0822	横浜市神奈川区西神奈川 2-7-1	045(432)5111
048 小 机	〒222-0036	横浜市港北区小机町 1459	045(472)8221
051 荏 田	〒225-0015	横浜市青葉区荏田北 3-8-1	045(911)2741
055 田 奈	〒227-0064	横浜市青葉区田奈町 43-7	045(983)3221
056 上 星 川	〒240-0042	横浜市保土ヶ谷区上星川 1-4-9	045(382)0081
059 日 吉 下 田	〒223-0064	横浜市港北区下田町 4-3-12	045(561)5131
063 横 濱	〒231-0033	横浜市中区長者町 5-75-1	045(252)8491
064 川 和	〒224-0057	横浜市都筑区川和町 975-2	045(933)4641
068 たまプラーザ	〒225-0002	横浜市青葉区美しが丘 1-10-10	045(902)6701
070 新 横 濱	〒222-0033	横浜市港北区新横浜 2-4-13	045(471)8081
(仮店舗: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-14 WISE NEXT 新横浜 2 階)			
071 今 宿	〒241-0031	横浜市旭区今宿西町 1953-6	045(954)3901
079 瀬 谷	〒246-0031	横浜市瀬谷区瀬谷 4-4-10 ライゲート瀬谷 2 階	045(301)9411
085 仲 町 台	〒224-0041	横浜市都筑区仲町台 1-23-23	045(941)5011

大和市 3 店舗

047 大 和	〒242-0017	大和市大和東 1-5-5	046(263)3361
058 相 模 大 塚	〒242-0028	大和市桜森 3-5-3	046(263)5551
067 中 央 林 間	〒242-0007	大和市中央林間 4-19-10	046(273)0781

厚木市 1 店舗

049 厚 木	〒243-0018	厚木市中町 2-10-8	046(224)8711
---------	-----------	--------------	--------------

座間市 1 店舗

050 相 武 台	〒252-0011	座間市相武台 1-34-12	046(255)1241
-----------	-----------	----------------	--------------

相模原市 1 店舗

054 淵 野 辺	〒252-0233	相模原市中央区鹿沼台 1-13-16	042(758)3811
-----------	-----------	--------------------	--------------

海老名市 1 店舗

065 海 老 名	〒243-0432	海老名市中央 1-4-27	046(231)1411
-----------	-----------	---------------	--------------

藤沢市 1 店舗

083 湘 南 台	〒252-0804	藤沢市湘南台 2-8-18	0466(46)0561
-----------	-----------	---------------	--------------

インターネット支店

090 しらうめJネット	〒158-0097	世田谷区用賀 4-22-1 (事務センター内)	03(3493)8111
--------------	-----------	-------------------------	--------------

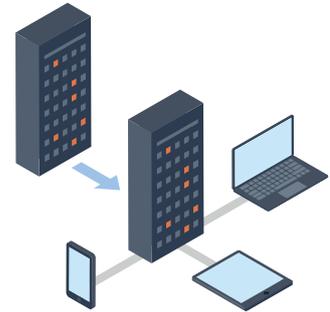
本部関係

本 店	〒141-8710	品川区西五反田 7-2-3	03(3493)8111
事務センター	〒158-0097	世田谷区用賀 4-22-1	03(3700)3161
コールセンター			0120(753)012
城南なんでも相談プラザ	〒141-8710	品川区西五反田 7-2-3	03(3493)8116
よい仕事おこしプラザ	〒144-0041	大田区羽田空港 1-1-4 羽田インベーションシティゾーン K3-1	03(5579)7655

しんきん共同システムへの移行について

当金庫の勘定系システムは1987年から現在に至るまで、プログラムの開発から設備も含めたシステムの運用管理までを独自に行う「単独自営」として運営してきました。

しかしながら、「単独自営」の状況下においては、複雑化する勘定系業務アプリケーションへの対応や各種サブシステムの対応、システム要員体制、バックアップシステムの実効性確保およびシステムリスク管理体制等について、すべて当金庫独自で対応しなければならず、その課題も顕著化してきました。



この課題解決と将来の勘定系システムの要件及び営業店システムの在り方について検討を重ねた結果、

- ① 勘定系システムの将来にわたる**安定稼働の確保**
- ② 勘定系システムの**業務継続態勢の維持・強化**
- ③ 勘定系システムの共通化、共同化による法制度対応等に係る**システムコストの削減**
- ④ 勘定系システムの共通化、共同化により生じた**人的資源の「戦略的分野」への配置**
- ⑤ 営業店システムの導入により生じた**「人と時間」の「お客様と接する時間」へのシフト**

を主たる目的として、2026年1月より、現行の単独自営システムから、一般社団法人しんきん共同センター※が提供する「共同利用型の勘定系システム」および「共同利用型の営業店システム」に移行することを決定しました。

「しんきん共同システム」へ移行するといっても、金庫としてのシステム関連業務や責任を全て外部に委ねるということではありません。金庫としての長期的なシステム戦略の中で、地域に貢献できるサービスを提供し続けていくことを第一に考え、あわせて従業員一人ひとりが十分に力を発揮できる仕組みを構築してまいります。

※一般社団法人しんきん共同センター…… 全国にある230を超える信用金庫の勘定系システムである「しんきん共同システム」を運営しています。

オンラインサービスの一時休止について

2025年12月31日(水)から2026年1月4日(日)にかけて、新システムへの移行のため、ATMでのお取引をはじめ、インターネットバンキングを含むすべてのオンラインサービスを一時休止いたします。(他行のATMにおいても、当金庫のキャッシュカードを利用することはできません)

お客様におかれましては、ご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、当金庫は引き続き、お客様の利便性、サービス品質の向上に努めてまいりますので、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

オンラインサービス休止期間

2025年		2026年						
12/29 月 通常通り	12/30 火 (※)	12/31 水	1/1 木・祝	1/2 金	1/3 土	1/4 日	1/5 月 通常通り	1/6 火 通常通り
オンラインサービス休止期間								

※12月30日(火)については、通常より休止時間を早める可能性がございます。お振込について、当日扱いは15:00までとなり、15:00以降は2026年1月5日(月)扱いとなります。詳細が決まりましたら、ホームページ等でご案内いたします。

通帳の切替について

新システムへの移行に合わせて、各種通帳および証書等のデザインを変更いたします。

新たな通帳のデザインは、当金庫のコーポレートマークである白梅の花のさまざまな紋様を一つのフラワーボールとしてまとめました。フラワーボールには、白梅が象徴する「生命力」「忍耐」「希望」「高潔さ」といった価値が込められており、地域社会の多様性と結束、当金庫が地域と共に成長し新たな未来を築いていく姿や、白梅のように調和と力強さを兼ね備え、地域に安心と希望を届ける存在であり続けたいという想いを表現しています。

現在ご利用いただいているすべての通帳証書について、2026年1月5日以降、お切替えをお願いいたします。

なお、通帳証書のお切替えに期限はございません。新システムへの移行後しばらくは、店頭の混雑が想定されますので、お急ぎでなければ期間をおいてからお手続きください。また、ATMでも通帳の入出金やご記帳（記帳されていないお取引がある場合に限り）を行っていただくことでお切替えが可能です。



科目番号・口座番号の変更について

新システム移行に伴い、科目番号・口座番号が変更となるご預金がございます。詳細につきましては、ホームページでご案内いたします。

なお、普通預金、当座預金、納税（準備/貯蓄）預金の口座番号は、現行表示6桁の頭に「0」が付いて7桁になりますが、給与や年金の受取り、公共料金やクレジット等の各種引落しについて、新たなお手続きの必要はございません。また、普通預金のキャッシュカードについても、変更等のお手続きの必要はなく、そのままご利用いただけます。

 城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3
TEL : 03(3493)8111(代表)

<https://www.jsbank.co.jp>

